

2歳児年間指導計画

| | | | | |
|-------|--|--|---|---|
| 年間目標 | ○保育教諭との安定した関わりの中で、生活に必要な身の回りの事を自分でしようとする。 ○指先、手先、全身を使って生活し、体幹を鍛えながらいろいろな遊びを楽しむ。 ○自己主張をしながら友達と遊ぶ事を楽しむ。 | | | |
| 期 | 1期(4・5月) | 2期(6～8月) | 3期(9～12月) | 4期(1～3月) |
| 子どもの姿 | ○新しい環境に戸惑いや不安を感じて泣いたり緊張したりする。 ○遊びが見つかったり周囲を見ながら遊びはじめる。 | ○身支度や生活の仕方を知り、保育者と一緒にやってみようとする。 ○水遊びなど夏の遊びを楽しんでいる。 ○友達と一緒にかけっこや運動遊び等身体を動かすことを楽しんでいる。 | ○必要な物が分かり、自分で準備したり保育教諭に手伝ってもらったりしながら、衣服の着脱を行う。 ○友達とごっこ遊びをする。 ○秋の自然物を遊びに取り入れながら遊ぶ。 | ○ごっこ遊びや日頃のやり取りの中で自分の思いを言葉で伝えるようになる。 ○寒さに負けず戸外で元気に遊んでいる。 ○戸外遊びから戻ったらうがい・手洗いをしようとする。 ○一人でも出来る事が増え、身の周りのことを進んでしようとする。 |
| ねらい | 養護・教育 ○保育教諭に見守られ安心して過ごす中で新しい環境に慣れる。 ○自分の好きな遊びや好きな保育教諭を見つけて遊びを楽しむ。 | ○一日の生活リズムが少しずつ分かり、安定して過ごす。 ○好きな遊びを見つけ、保育教諭と一緒に遊んだり、一人遊びを楽しむ。 ○水、砂、土などに触れ、手指や全身を使って楽しむ。 ○気の合う友達と遊ぼうとする。 | ○保育教諭の声掛けで、身の回りのことを自分でしようとする。 ○保育教諭やお友達と一緒に活動を楽しむ中で喜怒哀楽の感情を豊かに表現したり、簡単な言葉で表そうとする。 ○色々な遊びを通して、歩く、走る、跳ぶ等全身を使った遊びを楽しむ。 | ○簡単な身の周りの事を自分でしようとする。 ○保育教諭や友達との関係も深まり、模倣遊びや見立て遊びを楽しむ。 ○進級への喜びを共感されながら、期待する。 ○季節の変化に応じた生活を送り、健康で快適に過ごす。 |
| | 養護 ○新しい環境に慣れ、家庭と協力しながら適切な生活リズムを整える。 ○様々な気持ちを受け止められ、安心して過ごす。 ○楽しい雰囲気の中で食事をする。 | ○夏に合った生活を送り、気持ちよく過ごす。 ○思いや気持ちを受け止められ、安心して自我を表現する。 ○食材に興味をもち、食べることを楽しむ。 | ○気温の変化に応じた生活を送り、健康で快適に過ごす。 ○思いや気持ちを受け止められ、安心して自己表現する。 ○食具の持ち方を意識しながら楽しく食べる。 | ○身の周りの事を自分でしようとする意欲を大切に、出来た喜びや達成感を共感しながら自信に繋げていく。 ○食事のマナーを知り、保育教諭やお友達と楽しみながら食べる。 ○絵本等を通し、沢山の言葉を知り一緒に真似をして言ってみたりと言葉遊びを楽しむ。 |
| 内容 | 教育 ○戸外遊びを楽しむ。(健康、環境) ○簡単な身支度や生活の仕方を知る。(健康) ○保育教諭を仲立ちとして、友達と関わって遊ぼうとする。(人間関係、言葉) ○身近な自然に触れ探索活動を楽しむ。(健康、環境) ○手指を使った季節の製作を楽しむ。(表現) (歌) ○チューリップ ○ちようちよ ○こいのぼり ○おつかいありさん リズム | ○水遊びや戸外遊びで全身を使って遊ぶ。(健康、環境) ○簡単な身の回りのことをしようとする。(健康) ○保育教諭や友達に親しみを持って自分から関わろうとする。(人間関係、言葉) ○身近な素材に親しみ、描いたり、作ったりすることを楽しむ。(表現) (歌) ○かたつむり ○かえるのうた ○みずってっぽう ○たなばた | ○全身を使って十分に遊ぶ。(健康、環境) ○毎日の生活の流れが分り、出来る事は自分でしようとする。(健康) ○気の合う友達と遊びの中で、積極的に関わりながら、自分の思いを相手に伝える。(人間関係、言葉) ○体操やダンスに関心をもち、体全体で表現する事を楽しむ。(健康、表現) ○保育教諭やお友達とのやりとりを楽しみ中で言葉を覚える。(言葉、人間関係) (歌) ○とんぼのめがね ○どんぐりころころ | ○全身を使う遊びや、集団での簡単な遊びを楽しむ。(健康、人間関係) ○友達に積極的に関わりながら、相手にも思いがある事に気が付く。(人間関係) ○冬の自然に親しむ。(環境) ○身近な素や用具を使い、描いたり切ったり作ったりして楽しむ。(環境、表現) (歌) ○ゆき ○豆まき ○おにのパンツ ○こんこんしゃんのうた ○うれしいひなまつり |
| | 環境・配慮 ○散歩時等も個々の発達ペースに応じた対応をし、無理なく行っていく。 ○危険がないか十分に目を配り、子どもの動きを把握すると同時に動きを予想して安全に遊べるようにする。 ○子ども一人ひとりの健康状態を把握し、保健的で安全な環境を作る。 | ○沢山運動した後はしっかりと休息、睡眠をとり快適に過ごせるようにする。 ○水遊びでは浅い水場でも注意を怠らず安全に気をつける。 ○水への恐怖心を無くし、色々な遊びを展開して工夫することで楽しさを味わえるようにする。 | ○身の周りの事をやってみようとする意欲を認め、見守りながらも、その時に応じた援助をしていく。 ○保育教諭自身、感情を大袈裟に表現し、子どもと共に共感できる様な環境作りを配慮していく。 ○友達との関わりを増やしていける様に、同じ遊びを共有したり、同じ場所で共有して友達存在を自然と感じられる様にする。 ○手や指、体幹等意識できるような声掛けを行っていく。 | ○身の周りの事を自分でやってみよう気持ちを大切にしながら難しい事に対しては声を掛けたり、諦めずに取り組めるようにする。 ○友達との遊びの中で「貸して」「いいよ」等のやり取りも少しずつ出来るようになると同時に、トラブルに対してはいけな事はしっかりと目を見て注意して伝えていく。 ○子どもに分かりやすい言葉や表現方法を考慮しながら言葉を発する楽しさを共感していく。 ○3歳以上児の生活リズムに慣れる為、お部屋で遊んだり、午睡時間を合わせたり、進級への期待感や安心感が持てるようにする。 |
| 行事 | ・入園式 ・クラス別懇談会 ・児童健康診断 | ・春の遠足 ・保育参観 ・芸術鑑賞 ・お楽しみの日 ・幼児交通安全教室 ・運動会合同練習 | ・運動会総練習 ・運動会 ・秋の遠足 ・クラス別懇談会 ・お楽しみの日 ・児童健康診断 ・発表会合同練習、総練習 ・発表会 ・餅つき会 | ・保育参観 ・修了記念写真撮影 ・節分の集い ・クラス別懇談会 ・お別れ会 ・お楽しみの日 ・修業式 |